

## 力作メニューが登場！

茨城県教育委員会主催で行われた「つくろう料理コンテスト」で、<sup>たみやひびき</sup>田宮響さん（岩間三小6年）が最優秀賞を受賞し、食育の日である9月19日（金）に県庁内食堂「カフェテリアひばり」でこのメニューが限定販売されました。

メニューは、ゆかりと白ごまのおにぎりをはじめとする5品。ヘルシーでバランスのとれた献立です。

お客さんからは「塩分が控えめでおいしい。小学生ならではの発想力豊かな献立に毎年期待しています。」と好評でした。田宮さんは、「朝ごはんのメニューを考えて、改めてその大切さを学びました。今度はデザートにもチャレンジしたい。」とこれからの抱負を語りました。



受賞した田宮さん



「茨城県産ヘルシー美味しい朝ごはん」

## 祝・長寿 いつまでも健やかに

9月10日（水）、11日（木）敬老の日を前に山口市長が市内の100歳達成者および最高齢者を訪問し、長寿を祝い、ほう状と記念品を贈りました。

今年度は19名の方が100歳を迎え、市長が一人ひとりに「おめでとうございます。これからもお元気で長生きしてください。」とお祝いの言葉をかけると、皆さん笑顔で応え、お元気な様子でした。

また、最高齢者は、9月15日の敬老の日で106歳の誕生日を迎えた<sup>はせがわすい</sup>長谷川すいさん（押辺）で、山口市長から最高齢者の祝状と記念品を、県内の長寿者に肖像画を贈呈するボランティアをされている肖像画家の<sup>さかよししょうき</sup>酒寄翔麒さんから肖像画が贈られました。



祝状、肖像画を受け取る長谷川さん

## 農業を支える若い力

常陸農業協同組合の営農販売課で働く<sup>まえざわまさひこ</sup>前澤昌彦さん（29歳）と<sup>こだまともき</sup>児玉知樹さん（24歳）は、小菊の営農指導を担当し、定年帰農された方を中心とする新規農業者に小菊の栽培から販売までを教えています。

小菊は観賞用として栽培され、主に京浜市場に出荷しています。笠間市はニーズへの対応力や品質の高さが評価され、9月22日（月）に合併後5度目の「花き銘柄産地指定」を受けました。

児玉さんは、「農家の方の生活を預かる、責任ある仕事。笠間は県内でも大きな産地なので、栽培がこれからも続くよう緊張感をもって業務に励みたいです。」と自らの仕事について語っていました。これからの小菊栽培を担う若い力に期待です。



左から前澤さん、児玉さん



## 日本下水道協会会長賞を受賞！

箱田結香さん(岩間一小3年)が、第53回下水道の日「下水道いろいろコンクール」の書道部門、小学校低学年の部で応募総数21,166点の中から、日本下水道協会会長賞を受賞しました。

このコンクールは、9月10日の「下水道の日」にちなんで小中学生を対象に絵画や作文、書道などの作品を募集し、下水道に対して興味を持ち、理解を深めることにより、環境の改善と下水道の普及促進を図ることを目的として毎年実施しています。



受賞した箱田さん

## 8か月で5万人が来場



信重さん(左)と友人の寺町さん、東田さん(右)

平成25年12月20日にオープンした筑波海軍航空隊記念館(県立こころの医療センター敷地内)の来場者数が、8月27日(水)に5万人を突破しました。

記念すべき5万人目の来場者となったのは、友人と一緒に訪れた広島県出身の大学生の信重一真さん。

「記念館を見学して、改めて戦争の厳しさを感じるとともに、展示されていた零戦の後部胴体を見て、日本人の技術力に感動しました。保存状態も良いので、もっとたくさんの方に記念館を訪れてほしいと思います。」と話していました。

信重さんには、記念館から認定証と記念品が贈られました。

KASAM  
TOP  
まちの

## 「笠間市岩間地区日赤奉仕団」と「土師ひやくしょう塾」が国土交通大臣表彰受賞

茨城県道路里親制度認定団体の「笠間市岩間地区日赤奉仕団」(佐藤喜代子代表 構成員39人)が下郷地区の国道355号を、「土師ひやくしょう塾」(中里節男代表 構成員20人)が土師地区の主要地方道水戸岩間線を、ともに平成16年から10年間にわたり、道路美化活動等に努め、その顕著な功績が認められて8月1日(金)、国土交通大臣から感謝状が授与されました。



笠間市岩間地区日赤奉仕団



土師ひやくしょう塾